

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 30年度

市町村名	志木市					
提案事業名	いろは親水公園にぎわい倍增事業					
事業期間	28年度 ~ 28年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 2017年3月のいろは親水公園の流動人口					
	(成果検証の具体的な方法) 地域経済分析システム (RESAS) のメニューの中の一つの観光マップを利用し流動人口を探る。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	(A) B C
	従前値 (27年3月時点)	16,800人	目標値 (29年3月時点)	20,000人	実績値 (29年3月時点)	19,500人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項						

【事業効果の整理・原因分析】

平成28年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① いろは親水公園環境整備事業	◎ △ ×	市民団体や町内会と協働して、すいせんや芝桜、彼岸花などを植栽するとともに、多目的広場周辺の草刈や中洲に生えている雑木を伐採し、いろは親水公園のどこにいても、きれいな川や花が見渡せるよう整備を行った。さらに、3月のイベント時に水辺に降りられるようにするため、既存の柵に通用門を設置するほか、新河岸川での舟運事業を展開した。 これらの整備を実施することで、いろは親水公園全体が市民の憩いの場として利用しやすく、さまざまなイベントに対応できる使いやすい広場となり、いろは親水公園の流動人口の増加につながった。
② いろは親水公園祭り事業	◎ △ ×	3月末から4月上旬にかけての桜の時期には、市内外より多くの観光客が訪れることから、これまで個別に開催していた「村山快哉堂まつり」と「志木コミュニティまつり」を同時開催し、相互の市民力を結集したイベントとすることで、これまで以上のにぎわい創出につながり、いろは親水公園の流動人口の増加につながった。【補助対象外】
③	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	いろは親水公園内の環境整備を行ったことで、いろは親水公園全体が市民の憩いの場として利用しやすく、また、さまざまなイベントに対応できる使いやすい広場となり、これまで以上のにぎわい創出につながり、いろは親水公園の流動人口の増加につながった。
実施事業について 成果が不十分である点	
成果検証を踏まえた 今後の改善策	今後も、志木市の魅力発信の起爆剤である「いろは親水公園のにぎわいづくり」を積極的に進めるため、県と連携して進めている「川の国埼玉はつらつプロジェクト」において、いろは親水公園に、これまで以上に多世代の市民が集うにぎわいあふれる水辺空間の整備を行うとともに、整備箇所を活用したさまざまなイベントを企画・実施する。

(記入上の注意)

【成果指標の達成状況】

・達成度(A・B・C)の判断基準は次のとおりとする。

「達成度A」 目標値に対する実績値の伸び率が80%以上の場合

実績値 \geq (目標値－従前値) \times 80%＋従前値

「達成度B」 目標値に対する実績値の伸び率が60%以上80%未満の場合
(目標値－従前値) \times 60%＋従前値 \leq 実績値 $<$ (目標値－従前値) \times 80%＋従前値

「達成度C」 目標値に対する実績値の伸び率が60%未満の場合
実績値 $<$ (目標値－従前値) \times 60%＋従前値

【事業効果の整理・原因分析】

・事業効果(○・△・×)の判断基準は次のとおりとする。

「事業効果○」 事業効果の発現が十分に認められる

「事業効果△」 事業効果の発現が多少認められるが、不十分な点がある

「事業効果×」 事業効果の発現がほとんど認められない